

ひびきあい

学校だより 9月号

令和3年 9月1日

横浜市立新田小学校

聴くことの難しさ、大切さ

校長 村岡 靖

私の好きな児童文学に「モモ」という本があります。

ある時突然、村に現れた、モモという不思議な女の子は、すぐに村の人たちにとって、大切な存在になります。それは、モモが人の話を聴くことができたからです。でも、モモは話を聴いても素晴らしいアドバイスを教えたり、心にしみる慰めを言ったりはしません。ただただ、話を聴くだけです。そんなの、だれでもできるじゃないかと思うかもしれませんが、でも本当に話を聴くことのできる人は、めったにいないのです。人々はモモに話を聴いてもらうと、勇気や希望や明るさがわいてくるのです。私なんてダメな人間だ、失敗ばかりだ、とっていた人が、モモに話を聴いてもらうと、私という人間は一人しかいない、私は大切な存在なんだと感ぜられるようになるのです。モモは、そんな風にヒトの話が聞けたのです。

これは物語の中だけの話ではありません。WHOが自殺予防のために出している文書（WHO「プライマリ・ヘルスケア従事者のための手引き」）には以下のように書かれています。

「もっとも重要なことは、話を聴くこと。話を聴くこと自体が自殺をしたいほどの絶望感を減らすことができる重要なステップ」

静かに耳を傾け、相手を受容し尊重して話を聴くことは、うまくいかないな、不安だなと感じている人を良い方向に変えることができるのです。

私は教員の時に、クラスの子どもから悩みを打ち明けられると、子どもが話している最中に、「どうアドバイスしよう、なんて慰めてあげれば良いのだろう。」など、頭がフル回転してしまっていました。話を聴いてあげること自体の大切さや効果をわかっていなかったのです。子どもの声に集中して耳を傾けるべきだったのです。

コロナ感染がデルタ株に置き換わり、社会全体が厳しい状況の中で、子どもたちの不安は大きいと日々感じています。自分は大切な存在なんだ、と子どもたちが感ぜられるように、「子どもたちから丁寧に話を聴くことのできる」学校でありたいと思います。ご家庭でもぜひ、お子さんからお話を聴いてあげてください。

20代未満のコロナ感染が増えています。行事や日程など様々な事が今後とも変更になると思います。平常時の予定変更はあまり望ましい事ではありませんが、このような緊急時には、むしろ状況の変化に合わせて臨機応変に対応することが大切です。今後とも、どうかご理解とご協力をお願いいたします。